

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス・アキュドライブⅢ</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.494</b>	△RG <b>0.052</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ナノデス・アキュドライブⅢ**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：ナノデス・アキュドライブⅡ**

フレアーの幅  インチ

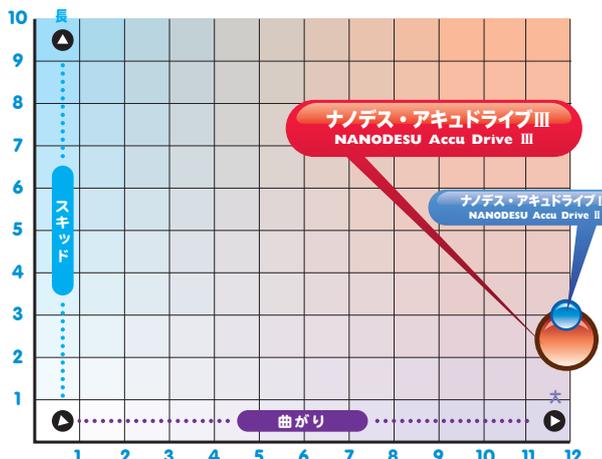
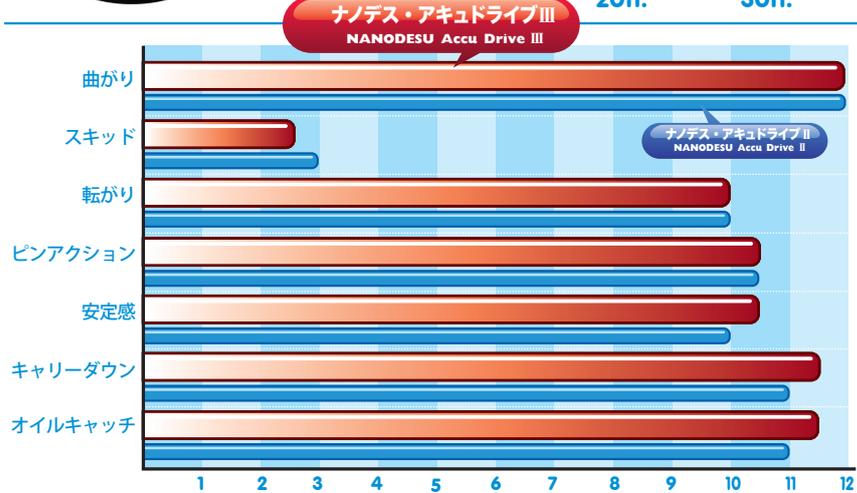
PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



## ボールの評価

ナノデスの新シリーズとして登場したアキュドライブシリーズも今回で第3弾。「信頼と実績」を念頭に掲げ、一切の妥協とは無縁の拘りづくりした最新作アキュドライブ3の発売です。アキュドライブ3のコンセプトは、初代アキュドライブの動きを継承しながらオイルキャッチとバックエンドを双方強化させることです。そしてそのパフォーマンスを実現するために様々な素材を使いながらカバーの強さ調整を行いテストを重ねてきました。アキュドライブで使用したSuper Edgeコアとの相性を含め導き出した結果、カバーストックをHybrid化し配合調整を行うことでスキッドとキャッチのバランスを取りました。UG Nano-Thane2.5 Hybridと初代アキュドライブよりカバーストック数値は低い素材ですが、Hybridの配合調整でスキッドはアキュドライブ>アキュドライブ3となり、キャッチはアキュドライブ<アキュドライブ3という図式になります。

アキュドライブとの比較投球では素材がPearlからHybridに変わったことで手前のオイルに対しての安定感が数段上がっており、ミッドの曲がり始めのイメージが顕著に安定しているのが分かります。今までのアキュドライブは奥で動きが一番に感じられましたが、このアキュドライブ3はミッドで一度曲がり、奥でもう一度曲がるイメージがあります。このイメージこそが私達がアキュドライブ3に求めたものであり、Hybrid化した意図がここにあります。奥の鋭さこそ初代アキュドライブに譲るものの、全体的にキャッチと曲がりをも強めたアキュドライブ3は、Super Edgeコアの能力を一段階上げた更なる可能性を魅せてくれるボールとして進化を遂げました。

## 特記事項

**初代アキュドライブをトータル的に強化して、さらなる可能性を見出したボール。ミッドからバックエンドの安定感は群を抜いて素晴らしい出来栄です。**